

What's SHIZU-GIN?

第112期 営業の中間ご報告

2017
DECEMBER

CONTENTS

- ① TOP MESSAGE
- ③ 第13次中期経営計画
- ⑤ 営業のご報告
- ⑨ TOPICS
- ⑪ 地方創生への取り組み
- ⑮ Shizugin-ship
- ⑰ コーポレート・フィランソロピー
- ⑰ 第112期 営業の中間ご報告
- ⑳ 決算情報

第13次中期経営計画

Tsunagu
～つなぐ



マイナス金利に象徴される未曾有の金融緩和政策のもと、私たち金融機関は極めて難しい経営を強いられています。そして、その一方で、人口減少が進み構造的な変化に直面する社会にあって、自らの進むべき道を明確に描き出す必要に迫られています。そのため、静岡県内でも信用金庫の経営統合が発表されたように、地域金融機関同士の合併はすでに全国的なトレンドとなり、大手金融機関も合理化を中心に据えた経営に大きく舵を切ろうとしています。

こうした時代認識のもと、静岡銀行グループは第13次中期経営計画「TSUNAGU〜つなぐ」をスタートさせました。この計画こそが、変化が激しく将来を見通すことが困難な時代において、「いま何を行い、どう行動すべきか」を具体的に定めた、私たちの「未来への海図」とも言うべきものです。

計画では、「Innovative Bank〜地域とともに新たな価値を創造する『しずぎん』」をビジョンに掲げ、独自の方向性をもって進めてきた異業種企業とのコラボレーションや新しい事業領域への進出など、「新たな成長機会への挑戦」に一層の力を注ぎます。くわえて、これまで静岡銀行グループの成長を支えてきた伝統的な領域においても、従来の発想を超える新たな価値を創り出し、どのような経営環境にあって地域とともに成長を続ける

力強い金融グループを目指します。

主な取り組みについては本誌でお示した通りですが、4つの基本戦略「地域経済の成長にフォーカスしたコアビジネスの強化」「事業領域の開拓・収益化による地方銀行の新たなビジネスモデルの構築」「チャンネル・IT基盤を活用したセールス業務の変革」「地域、お客さま、従業員、株主の夢と豊かさの実現を応援する」のもと、役職員が一丸となり、新たな総合金融グループの創造に向けた挑戦を重ねています。

また、計画のスタートに合わせて実施した組織改定では、これまでの法人・個人というマーケット別の組織からチャンネル別の組織へと再編し、事業承継など提案型営業を推進する「ソリューション営業部」と、非対面営業を統括する「ダイレクトチャンネル営業部」を新設。とくにソリューション営業部では、お取引先のニーズが拡大している事業承継、相続、資産運用などの総合的なサポートにワンストップで取り組む体制を整えました。

この組織改定でもっとも重視したことは、お客さまの声にしっかりと耳を傾け、そのニーズにもとづく最適な商品やサービスを提供する「マーケットイン」の発想を全面的に取り入れることです。社会が成熟する過程においては、個人の価値観が多様化し、消費者の行動も大きく様変わりしており、何より個々のお取引先の声に真摯に耳を傾ける営

業の重要性を強く感じていたからです。

そして、この計画を進めるフィールドは、静岡銀行の店舗ネットワークのある地域、すなわち「コアビジネス領域」。次に「首都圏」にあるさまざまなマーケット。そして、主としてインターネットを介した「ネーションワイドマーケット」の3つになります。

しかし、あくまでも静岡銀行グループの軸足は、これまでともに歩んできた地域にあります。したがって、首都圏やネーションワイドといったマーケットで新しい事業領域を開拓し、収益基盤の拡大をはかる一方で、地域における店舗ネットワークの維持はもちろん、お取引先のさまざまなニーズに即応するソリューションの提供に努めていきたいと考えています。

どのような時代であっても、地域経済の安定と発展に貢献していくことが地域金融機関の社会的な使命であるとともに、企業としての不変の存在意義でもあります。そして、時代の変化に歩調を合わせて、あるいは変化を先取りして自らのビジ

ネスモデルを変えていくことが静岡銀行グループの成長を実現する道となり、「地域とともに夢と豊かさを広げます。」という企業理念の実践となります。

私たちは、こうした姿勢を堅持し、変化を成長の糧とするスピード感あふれる経営により、地方銀行の新たなビジネスモデルを発信し続けることで、皆さまの期待と信頼に応えてまいります。

皆さまにおかれては、変わらぬご支援をたまりますようお願い申し上げます。

頭取 柴田 久



地域とともに新たな価値を創造し続ける『しずぎん』

企業理念 | 地域とともに夢と豊かさを広げます。

		2019年度計画
収益性指標	連結経常利益	770億円以上
	連結当期純利益	540億円以上
効率性指標	連結ROE	6%程度
	連結OHR	55%程度
健全性指標	連結普通株式等Tier1比率	14%程度
投資家向け指標	株主還元率	中長期的に50%程度

ビジョン Innovative Bank ～地域とともに新たな価値を創造し続ける『しずぎん』

4つの基本戦略を「コアビジネス」「首都圏」「ネーションワイド」の3つの事業領域で推進します。あわせて、「収益」

「人」「チャネル」の3つの構造改革に取り組み、ビジョンを実現します。

4つの基本戦略

- 1 地域経済の成長にフォーカスしたコアビジネスの強化**
静岡銀行グループが提供する総合金融サービスが、お取引先の夢の実現、ひいては地域社会の発展に貢献することで、それぞれの成長につながる好循環を生み出します。
- 2 事業領域の開拓・収益化による地方銀行の新たなビジネスモデルの構築**
第12次中期経営計画から取り組んできた事業領域の拡大をさらに進めることで、地方銀行の新しいビジネスモデルを創造します。
- 3 チャネル・IT基盤を活用したセールス業務の変革**
次世代システムの導入により、お客さまとの接点であるチャネルのあり方とこれまでの業務プロセスを刷新し、利便性と効率性を高めます。
- 4 地域、お客さま、従業員、株主の夢と豊かさの実現を応援する**
静岡銀行グループを支えるすべてのステークホルダーの満足度向上を通じ、それぞれのステークホルダーの評価と信頼が他のステークホルダーへ波及する好循環を創出します。

事業領域



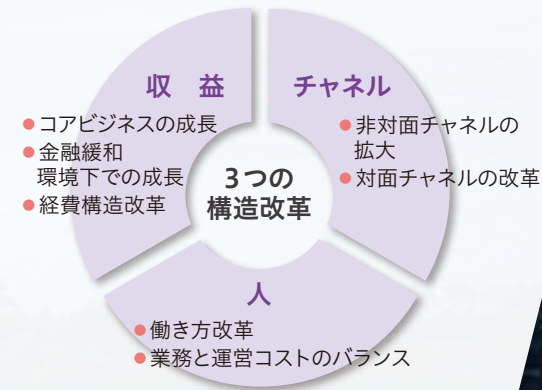
構造改革

3つの事業領域

コアビジネス (地域)

首都圏

ネーションワイド (全国展開)



マーケット別からチャネル別へ 第13次中期経営計画を組織面から着実に進めるために新しい部

ソリューション営業部

お取引先の事業承継、相続、ライフプラン、資産運用のサポートなどに総合的に取り組むため、法人・個人のコンサルティング機能を集約しました。



経営者の円滑な資産承継は、会社の事業承継と個人の相続対策を一体で準備していくことが大切です。



署を設置しました。

ダイレクトチャネル営業部

インターネット(スマートフォン)、コールセンターなどのお客さまと銀行を直接結ぶダイレクトチャネルを通じて、非対面、ネーションワイドの取引を企画・推進します。

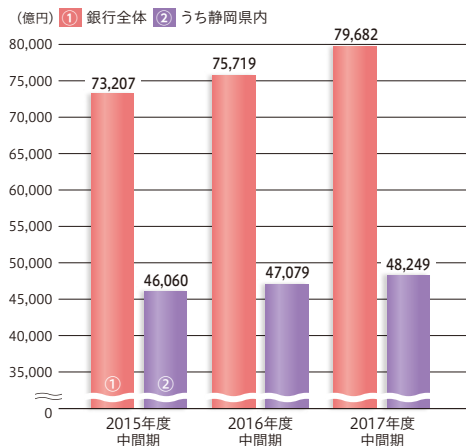


投資信託口座の開設はインターネットが便利です。インターネットバンクのご契約がなくても「静岡銀行ホームページ」からお申し込みいただけます。

貸出金

2017年度中間期の貸出金の残高(平残)は前年同期比3,963億円増加し、7兆9,682億円となり、このうち静岡県内向け残高は1,170億円増加し、4兆8,249億円となりました。

貸出金残高(平残)の推移

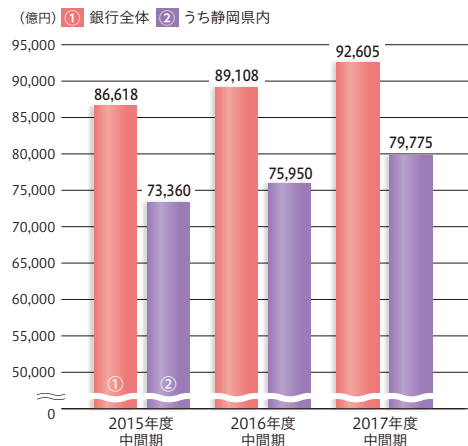


貸出金(平残)のうち
静岡県内の割合 **60.6%**

預金

2017年度中間期の預金残高(平残)は前年同期比3,497億円増加し、9兆2,605億円となり、このうち静岡県内の残高は3,825億円増加し、7兆9,775億円となりました。

預金残高(平残)の推移

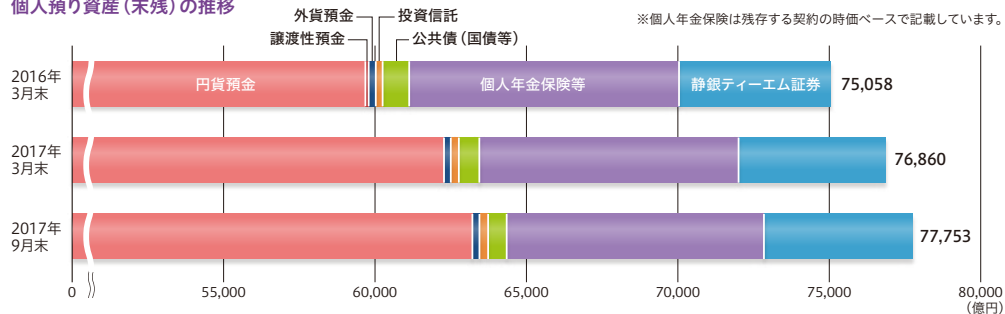


預金(平残)のうち
静岡県内の割合 **86.1%**

個人預り資産

2017年9月末の静銀ティーエム証券を含む個人預り資産の残高は3月末から893億円増加し、7兆7,753億円となりました。

個人預り資産(末残)の推移



ソリューション営業

「医療・介護」「環境」「事業承継」「海外進出」「農業」分野で、お取引先の成長につながるソリューションを提供しています。

※各数字は2017年度上期の関連融資実績

86億円※

農業経営アドバイザーの資格をもつ行員14名を本部と地区カンパニーに配置。

325億円

医療経営士23名、介護福祉経営士15名を本部と各カンパニーに配置

108億円

海外拠点にくわえ、アジア地域やメキシコで現地の金融機関と業務提携を締結しお取引先をサポート

154億円

環境格付融資・私募債などを通じた資金供給

259億円

株式移転・M&A等による幅広い事業承継支援

活用しよう 海外ビジネス補助金セミナー

2017年8月22日 静岡・24日 沼津・25日 浜松
JICA(国際協力機構)、AOTS(海外産業人材育成協会)の支援制度ならびに事例を紹介しました。



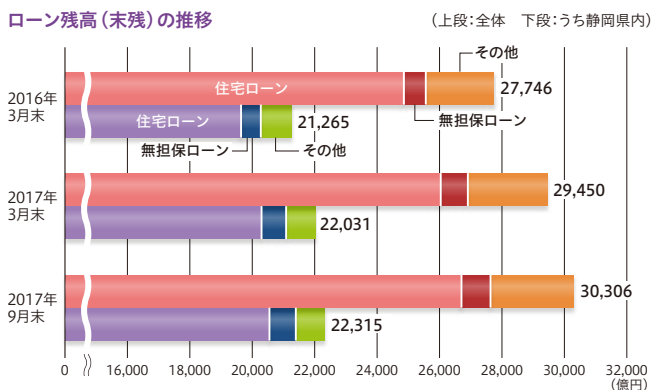
成功する 医院継承セミナー

2017年10月28日 静岡
病医院の円滑な相続・事業承継のポイントを具体的な事例とともに紹介しました。



ローン

2017年9月末の個人のお客さま向けローンの残高は3兆306億円で、住宅ローンを中心に、2017年3月末より856億円増加しました。



- ローンの内訳
 - 住宅ローン ■無担保ローン ■その他 (資産形成ローン等)
 - うち静岡県内
 - 住宅ローン ■無担保ローン ■その他 (資産形成ローン等)
- ※「住宅ローン」はアパートローンを含む。

住宅にかかわるさまざまなニーズにお応えします

セカンドライフの充実に
しずぎんリバースモーゲージ「人生謳花」

ご自宅等を担保として融資限度額を設定し、その範囲内で何度でもお借入れが可能になるローンです。

ポイント

- ★お使い道は自由
 - 生活を充実させたい ●趣味を楽しみたい
 - 住宅ローンを一括返済したい など
- ★ATMやインターネットバンキングが必要な時にお借入れ
- ★月々のご返済はお利息のみ
- ★元金のご返済はお亡くなりになられた後で



インターネット&郵送で
住宅ローン「完全非対面型」

ご来店いただかなくても住宅ローンをご利用いただけます。

【取扱店】インターネット支店
 【資金用途】住宅新築・購入資金、住宅ローンのお借換資金など

- ご利用の流れ
- 1 事前審査 / ネット審査
 - 2 申込書 / 郵送
 - 3 契約書 / 郵送



中古住宅流通の活性化
リノベーションにも対応

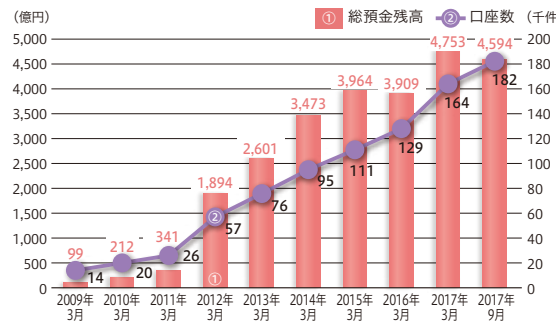
中古住宅の流通やリノベーション市場の活性化を担うリノベる(株)と資本業務提携を締結し、金融面から支援しています。

らしい暮らしを、見つげよう
リノベる。

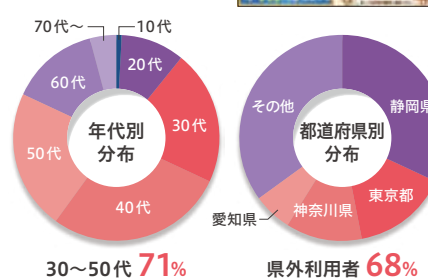
インターネット支店



インターネット支店の預金残高・口座数推移



顧客構成 (2017年9月)



時間や距離的な制約のないインターネット支店では、口座開設のペーパーレス化や投資信託取引のオンライン化など、より便利で身近にお使いいただけるよう、機能の改良、拡張にも取り組んでいます。また、定期預金キャンペーンなどを通じて、全国のお客さまにご利用いただいています。

ほけんの窓口@しずぎん

静岡駅南 S-Patio 店・浜松中央店
 藤枝駅前店・沼津駅北店

ほけんの窓口 @しずぎん

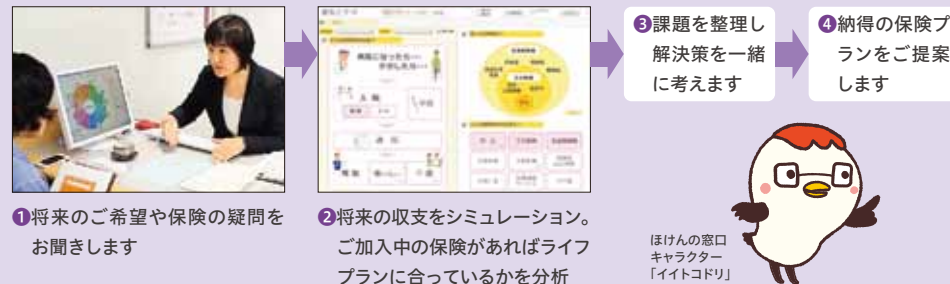
【募集代理店】株式会社 静岡銀行

お客さまそれぞれのご相談にお応えします

- 今加入している保険は自分に合っている?
- 保険料を節約したい、その方法は?
- 医療保険やがん保険の最新情報を教えてほしい
- 各社の豊富な商品から自分に合った保険を選びたいなど

「ほけんの窓口」のノウハウを活用した保険相談窓口「ほけんの窓口@しずぎん」の設置を進めており、今後も店舗を拡充する方針です。店頭では、専用のソフトを使ったライフデザインのシミュレーションがわかりやすいと好評です。土曜日、日曜日にも営業していますので、ご都合のよい時にご相談にお越しください。

ご相談の流れ



ご予約はWEBからどうぞ → www.shizuokabank.co.jp/personal/insurance/hoken/index.html

Shizugin Topics

しずぎんトピックス



「お客さま本位の業務運営方針」を制定

2017年6月30日

お客さまの資産形成・運用関連業務における「お客さま本位の業務運営方針」を制定し、この方針にもとづいた具体的な取り組みとして「お客さま本位の行動計画」を策定しました。



静岡銀行グループにおける「お客さま本位の業務運営」

	静岡銀行	静岡ディーエム証券
方針 [グループ共通]	静岡銀行グループ「お客さま本位の業務運営方針」	
具体的な取組み [各社ごと策定・実施]	静岡銀行 「お客さま本位の行動計画」	静岡ディーエム証券 「お客さま本位の行動計画」

➔ www.shizuokabank.co.jp/pdf.php/2784/290203_NR.pdf

静岡県警察本部から感謝状 高齢者を対象としたATMによる振込利用制限

2017年6月30日

還付金・振り込み詐欺等の被害防止を目的とした「ATMでのキャッシュカードによる振込みの利用制限」に対して、静岡県警察本部から感謝状が授与されました。



「おもてなし規格認証」の普及に向けて

金融機関で全国初の「★金認証」を取得 —本店営業部・浜松営業部・沼津支店—

2017年10月24日

静岡銀行では2017年3月に国内全営業店で「紅認証」を取得し、今回3店舗で「★金認証」を取得しました。

また、お取引先を対象としたセミナーの開催など、制度の普及にも取り組んでいます。



OMOTENASHI
Japan service quality

★☆☆☆☆

経済産業省が創設した認証制度で、上位から「紫」「紺」「金」「紅」の4種類があります

「つみたてNISA」の申し込みを受け付けています

2017年10月2日

2018年1月、働く世代の継続的な資産形成を税制面から支援する制度「つみたてNISA」が新設されます。現在、口座申請と積立投資の申し込みを受け付けています。



現行NISAとの比較

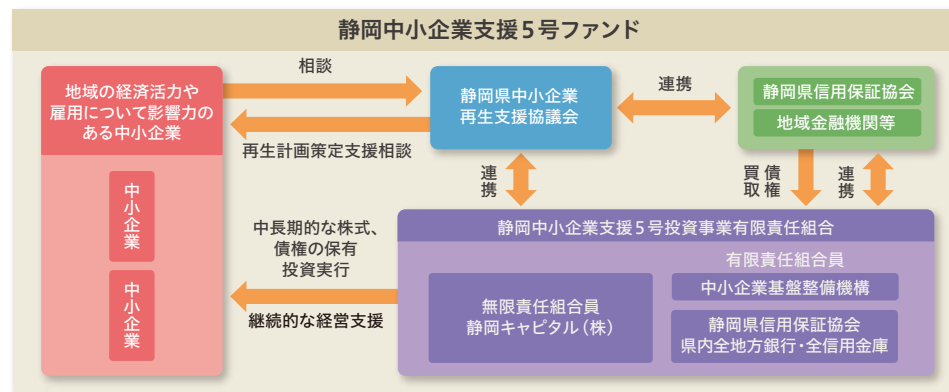
	つみたてNISA	現行NISA
年間投資可能額	40万円まで	120万円まで
非課税期間	20年間	5年間
対象商品	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託	上場株式投資信託等
制度終了	2037年まで	2023年まで

静岡キャピタルが「中小企業支援5号ファンド」を設立

2017年8月10日

静岡キャピタル(株)では、地元中小企業の再生を通じて地域経済の活性化をはかるため、「静岡中小企業支援5号ファンド(愛称:リバイバル)」を設立しました。ファンドの規模は40億円で、2004年に設立した第1号から合計すると総額で220億円となりました。

ファンドの概要(スキーム)



「健康経営宣言」を制定

2017年10月1日

「働き方改革」の取り組みの一環として、「健康経営宣言」を制定しました。従業員の健康保持・増進をはかるため、働きやすい環境づくりや従業員の健康づくりの支援に積極的に取り組みます。



地方創生

～地域社会の持続的成長に向けて～

産・官・学・金・労・言・士を結ぶコーディネーターとして

静岡県内各市町の首長、すべての地方公共団体関係者、商工会議所ほか関連団体、銀行役職員などがテレビ会議システムを通じて参加。政府の地方創生施策や、地方創生に向けた具体的事例を地域全体で共有しています。

第3回

地方創生全体会議

2017年9月15日



「新たな保育現場のあり方と家族のコミュニケーション」

ユニファ(株) 代表取締役 土岐 泰之 氏

「熱海市の地方創生への取り組みについて」

熱海市長 齊藤 栄 氏



2017年6月13日

富士山静岡空港と神奈川県観光協会へ
「富士・箱根・伊豆 県境のない地図」を贈呈

静岡銀行・横浜銀行・静岡県・神奈川県などで構成する「神奈川・静岡県境地方創生連絡会」が富士・箱根・伊豆地区への誘客を目的に作成した地図を贈呈しました。

しずおかキッズアカデミー

～いつまでも胸を張って
郷土の魅力を伝えるために～

子供たちが自分の生まれ育った「ふるさと」の魅力を楽しく学び、郷土愛を育むとともに、将来的にふるさに定住・定着し、地域を担う人材へと成長することを目的に開催しています。



テーマ：お茶博士になろう！

2017年9月24日 大井川鐵道新金谷駅(島田市)
～川根本町農林業センター(川根本町)



2017年9月25日

伊豆でカーシェアリング事業の実証実験を開始

オリックス自動車(株)と共同で、銀行店舗の駐車場をカーシェアリングの拠点にした実証実験を行っています。点在する観光スポットへの移動手段を提供し、公共交通機関で伊豆を訪れる観光客の利便性を高めます。

【ステーション設置店】

- 河津支店 2台
- 伊豆高原支店 2台
- 修善寺支店 1台
- 富士駅南支店 2台

Car sharing

車

&

道

Roadside station

「道の駅 魅力UPシンポジウム」を開催

県内に24ある「道の駅」運営事業者および設置自治体関係者など約50名に参加いただき、「道の駅」の情報発信機能などを活用した地域活性化への取り組みを検討しました。

〈会場〉

道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」

〈内容〉

講演「道の駅もてぎの取り組みについて」
パネルディスカッション「道の駅の課題と将来」



2017年9月22日



テーマ：木と紙を知ろう！

2017年10月1日 特種東海製紙 Pam
(長泉町)



テーマ：うなぎいも探偵団！

2017年10月15日 浜松卸商センター アルラ
(浜松市)

地方創生 地域の産業振興をサポート

～地域経済の活性化に向けたソリューションの提供～

ビジネスマッチング

お取引先のニーズに応じた販売先・仕入先等を紹介するビジネスマッチングに取り組んでいます。

ビジネスマッチング件数推移



地方銀行フードセレクション2017

～地方から全国へ販路拡大を目指す「食」の関連企業が集結～

【開催日】2017年11月9日～10日
【開催場所】東京ビッグサイト(東京都江東区)
【出展企業】831社(うち静岡県内企業29社)



経営ノウハウや人的ネットワークの提供など幅広いサポートを行っています

しずおか観光活性化ファンド

静岡キャピタル(株)がREVICキャピタル(株)と共同で運営している「しずおか観光活性化ファンド」
①実施日 ②投資先名 ③代表者 ④事業内容 ⑤投資額 ⑥投資内容

1号

- ①2016年1月8日
- ②株式会社 VILLAGE INC(下田市)
- ③代表取締役: 橋村 和徳氏
- ④キャンプ施設、飲食店、商業施設の運営
- ⑤8,000万円
- ⑥キャンプ場拡充など



2号

- ①2016年5月16日
- ②株式会社 しずおか観光ソリューションズ(静岡市)
- ③代表取締役: 杉山 敏之氏
- ④旅館等に対するコンサルティング、運営受託、設備資金供与
- ⑤2,000万円
- ⑥設立資金

宿泊施設等が抱える経営課題の解決をサポートするために設立

コンサルティング

事業性評価

地域経済の現況や産業の見通しを踏まえて、お客様の成長の可能性や事業の将来性を適切に評価する「事業性評価」を重視した融資を通じてお客さまや地域の発展を支えています。

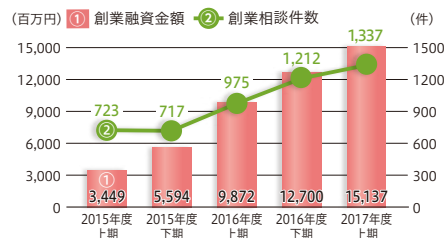
主な実績

	2017年度上期実績
事業性評価用コベナント付融資 将来性やキャッシュフローを重視	98件 / 105億円
しずおか創生・地域企業応援ローン 地域資源の活用や雇用拡大をサポート	33件 / 50億円
ABL(資産担保融資) 在庫や動産の価値に着目した融資	28件 / 43億円
経営サポート資金・ターンアラウンド資金 経営改善・事業再生をサポート	66件 / 12億円

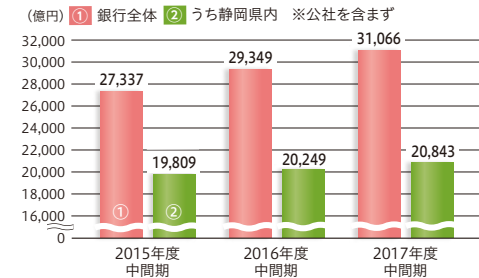
創業・新事業支援

地域に「仕事」を創出する創業・新事業を支援するため、県内の商工会議所をはじめ、地域の創業支援施設と連携してサポートを行っています。

創業支援



中小企業向け貸出金残高(平残)の推移

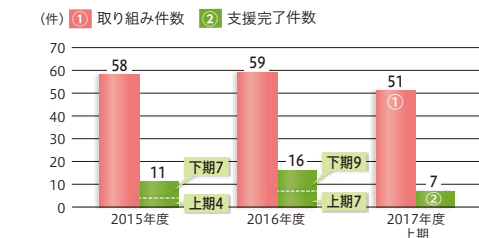


中小企業向け貸出金(平残)のうち静岡県内向けの割合 **67.1%**

経営改善・事業再生支援

静岡銀行グループでは、お客さまの経営状態に応じて、中小企業再生支援協議会等の外部機関などと連携して事業再生のサポートを行っています。

事業再生支援取り組み件数



観光活性化投資事業有限責任組合(しずおか観光活性化ファンド)では、これまでに4件の投資を行いました。

3号

- ①2017年4月28日
- ②株式会社 もちや(富士宮市)
- ③代表取締役: 清 智道氏
- ④観光施設運営、食品の加工・販売
- ⑤2,000万円
- ⑥せせらぎ(小川・池)の新設、レストラン改修など



4号

- ①2017年9月29日
～2018年5月末(分割)
- ②有限会社 新井旅館(伊豆市)
- ③代表者: 相原 昌一郎氏
- ④旅館
- ⑤1億3,000万円
- ⑥客室増設、食事処新設など





セミナー
Pickup!

特別セミナー「夢を持ち続け日々精進」

開催日 2017年9月13日
講師 株式会社A and Live 代表取締役 高田 明氏
(株式会社ジャパネットたかた創業者)

参加者の声

- 魂のこもったメッセージに感銘を受けました。
- 今日の自分を変え、未来を変える糧にします。
- シンプルな考え方で、とても理解しやすかった。

会員数 **783社 1,164名** (2017年9月末現在)

2017年度上期の活動実績 参加人数のべ**730人**

内容	開催実績
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	7回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	10講座20回
ミドル	5講座12回
ベーシック	5講座8回

ゼミナール
Pickup



セールスハンドリング実践講座

開催日 2017年5月16日~7月18日
(3回シリーズ)
講師 モチベーションファクター株式会社
代表取締役 山口 博氏

カリキュラム

- 交 渉 / セールス表現力・構成力
- 合 意 形 成 / コーチング実践力
- マ ネ ジ ム ン ト / 経営課題解決力

互いを理解し、ともに学びともに成長するために

行員も
参加して
います



西焼津支店 杉山貴哉

自己啓発と人脈づくりのために参加しています。趣味の話などで打ち解け、終始和やかな雰囲気の中で演習が進むので、仕事の場とは違ったお客さまの一面を知ることができ、多くの方と知り合いになりました。



駅南支店 大場明日香

普段なら接点をもつことのできない方々と出会う貴重な機会です。演習ではさまざまな業種、立場の方々のお話を伺うことができます。皆さんの考えはとても新鮮で、新しい視点にふれることが私にとっていちばんの収穫です。



●第22回 林家たい平・林家たけ平
二人会(2017年10月 静岡市)



●第64回 東儀 秀樹(2017年8月 沼津市)

**しずぎん
カルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」**

落語会の開催を通じて、地域の皆さまに、笑顔あふれるひとときをお届けしています。

しずぎんユーフォニア・コンサート

国内外の一流アーティストの演奏を地域の皆さまにお楽しみいただいています。



●しずぎんカップ静岡県ユースU-11サッカー大会
●しずぎんカップ静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会



スポーツ大会の支援

●少年サッカー
11歳以下の静岡県チャンピオンを決める「しずぎんカップ静岡県ユースU-11サッカー大会」や、全国各地から子どもたちが清水に集う「全国少年少女草サッカー大会」に協賛しています。

●少年野球
静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会に「しずぎんカップ」として協賛しています。

金融経済教育

常葉大学、静岡産業大学で「金融講座」を開講し、地域金融機関が静岡県経済に果たす役割などを解説。このほか県内各地の学校等で、随時金融や経済に関する教育を実施しています。



●常葉大学金融講座



静岡交響楽団を応援しています

●ユーフォニア・シリーズ Vol.5 早熟の天才たち! -アマデウスとフェリックス-
(2017年11月 しずぎんホールユーフォニア)

環境への取り組み

- 公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」
これまでに静岡県内で環境保全活動に取り組む団体や個人への544先に対し、総額6,920万円を助成しました。
- 「小さな親切」運動への協力
グループ企業内に静岡県本部を設置し、環境保全・美化活動など、潤いのある地域社会づくりに取り組んでいます。



第112期 営業の中間ご報告

企業理念 | 地域とともに夢と豊かさを広げます。



静岡銀行の概要

2017年9月30日現在

設立	1943年3月1日
資本金	908億円
貸出金	8兆1,389億円
預金	9兆4,049億円
総資産	11兆4,486億円
連結自己資本比率	16.71% (うち普通株式等Tier1比率 16.71%)
従業員	2,962人
本店	静岡市葵区呉服町1丁目10番地 TEL(054)261-3131
店舗数	203店舗 静岡県内 172 (本支店152・出張所20) 静岡県外 28 (支店23・出張所5) 海外 3 (支店3)

(注)記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

邦銀トップ水準の格付

2017年11月30日現在

静岡銀行は「ムーディーズ社」など国内外の3つの格付機関から、日本の大手銀行・地方銀行等のなかでトップ水準の格付を取得しています。

	長期格付
ムーディーズ	A1
スタンダード&プアーズ	A+
格付投資情報センター	AA

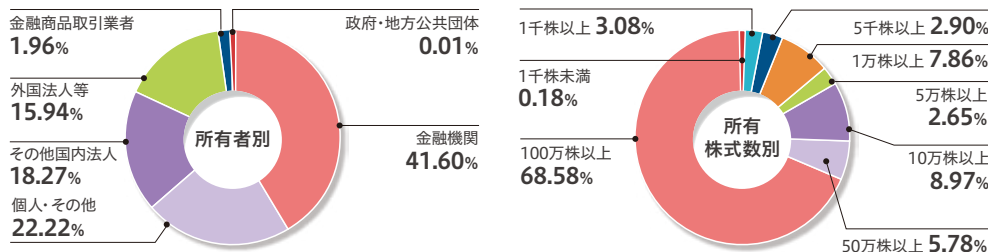
株式情報

2017年9月30日現在

株式の状況

株主数	20,739名 (2017年3月末比430名減)	発行済株式の総数	645,129,069株
		保有自己株式数	49,783,539株

株式の分布状況 (単元未満株式を含む)



株主還元状況

DATA.01

第13次中期経営計画期間(2017~2019年度)における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%程度」に則り、業績などを総合的に勘案し、2017年度の1株当たり配当額(年間)は、本年5月の公表どおり20円を予定しています。

配当額の推移

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度予想
1株当たり配当額(年間)	16.00円	20.00円	20.00円	20.00円(10.00円)
配当利回り(配当/期末株価)	1.33%	2.46%	2.20%	-

株主への利益配分の状況

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度予想	2012~2016年度実績(5年間)
年間配当額①(億円)	99	123	122	119	538(累計)
自己株式取得額②(億円)	113	70	85	97*	577(累計)
株主還元額③=①+②(億円)	212	193	207	216	1,115(累計)
当期純利益④(億円)	426	440	244	380	1,947(累計)
配当性向①/④×100(%)	23.24	27.91	49.83	31.29	27.64(平均)
株主還元率③/④×100(%)	49.82	43.82	84.60	56.91	57.28(平均)

※2017年8月23日取締役会決議にもとづく取得結果を記載しています。

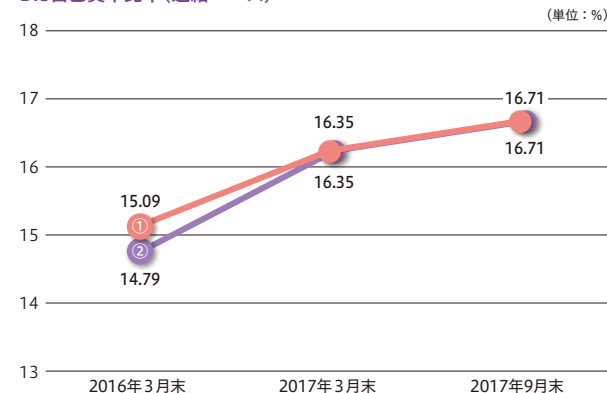
健全性を示す「自己資本比率」(国際統一基準)

DATA.02

自己資本比率<国際統一基準>は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

2017年9月末のBIS自己資本比率(連結ベース)は、16.71%、また普通株式に係る株主資本等を中心とした普通株式等Tier1比率は16.71%となりました。

BIS自己資本比率(連結ベース)

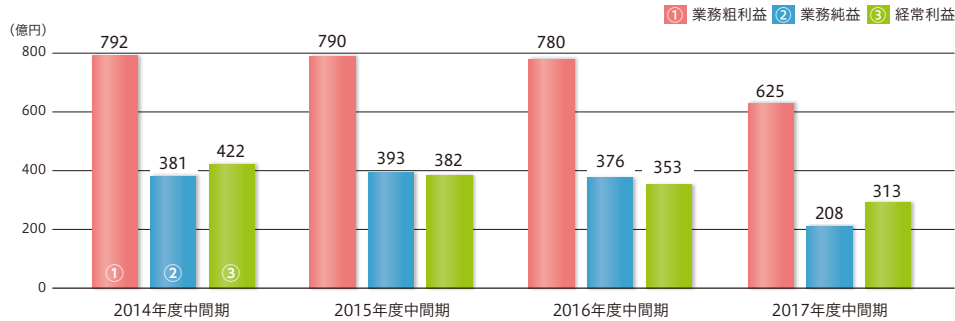


① BIS自己資本比率
② 普通株式等Tier1比率

業務粗利益・業務純益・経常利益の推移(単体ベース)

DATA.03

2017年度中間期の業務粗利益は、国債等債券関係損益の悪化による、その他業務利益の減少および資金利益の減少などにより減益となりました。業務純益は業務粗利益の減少に加え、経費が増加したことにより減益、経常利益についても減益となりました。



主な経営指標(単体ベース)

(単位:%)

	2014年度中間期	2015年度中間期	2016年度中間期	2017年度中間期	前年同期比
ROE(中間純利益)	4.91	4.11	2.89	4.92	2.03
ROA(中間純利益)	0.38	0.33	0.23	0.41	0.18
OHR(経費/業務粗利益)	51.89	50.56	51.58	66.77	15.19
1株当たり中間純利益(円)	31.70	29.25	20.82	37.04	16.22

(注)前年同期比は、表上で算出しています。

ROE
[Return on Equity・自己資本利益率]

自己資本を使ってどれだけ利益をあげたか(資本の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

ROA
[Return on Assets・総資産利益率]

総資産を使ってどれだけ利益をあげたか(資産の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

OHR
[Over Head Ratio・経費率]

一定の業務粗利益を得るためにどれだけ経費をかけたかを示す指標です。この値が低いほど効率性が高いことを示します。

有価証券評価損益の状況

DATA.04

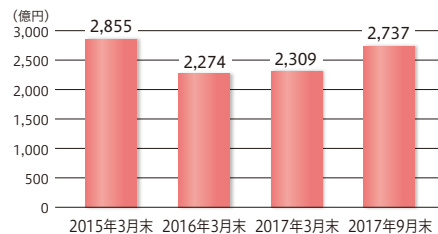
2017年9月末の株式・債券等の有価証券評価損益は+2,737億円と2017年3月末に比べ428億円増加、うち株式評価損益は+2,650億円と2017年3月末に比べ422億円増加しました。

(注)満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式を除きます。

日経平均株価

2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2017年9月末
19,206.99円	16,758.67円	18,909.26円	20,356.28円

有価証券評価損益(単体ベース)



リスク管理債権等の状況

DATA.05

リスク管理債権の状況(単体ベース)

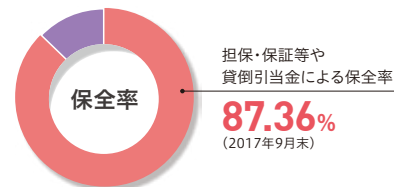
2017年9月末のリスク管理債権の総額は943億円、貸出金残高に占める割合は1.15%と2017年3月末に比べ減少しました。また、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は87.36%となっています。なお、リスク管理債権から部分直接償却額43億円、信用保証協会の保証付貸出金456億円、担保・引当金等325億円を控除した実質的なリスク管理債権は119億円で、貸出金残高に占める割合は0.14%です。



リスク管理債権の内訳

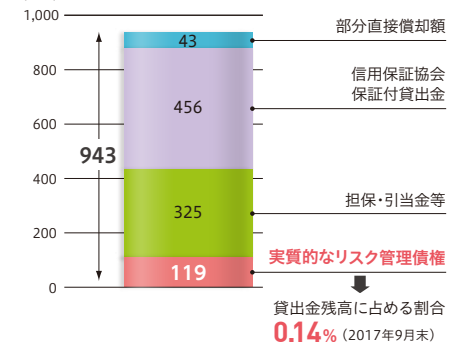
(百万円)

破綻先債権額	2,213 (0.02%)
延滞債権額	78,880 (0.96%)
3カ月以上延滞債権額	883 (0.01%)
貸出条件緩和債権額	12,286 (0.15%)



実質的なリスク管理債権

(億円)



金融再生法開示債権の状況(単体ベース)

2017年9月末の「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」施行規則にもとづく開示債権の総額は944億円、総与信残高に占める割合は1.13%、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は87.37%となっています。

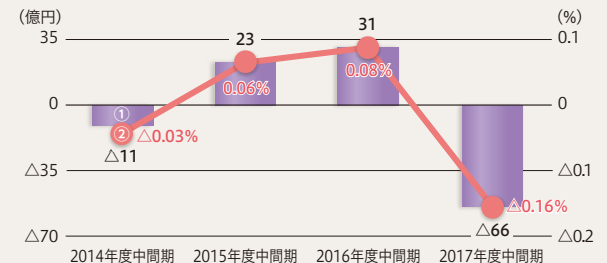
与信関係費用の状況(単体ベース)

2017年度中間期の与信関係費用は△66億円、与信関係費用比率は△0.16%となりました。

① 与信関係費用
= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額
- 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益

② 与信関係費用比率
= 与信関係費用 / 貸出金平残

与信関係費用・与信関係費用比率の推移



決算情報 しずぎんの決算(連結・単体)をお知らせします。

(単位: 百万円)

中間貸借対照表(連結)

科目	2017年度中間期末	科目	2017年度中間期末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	1,085,668	預金	9,352,940
コールローン及び買入手形	284,842	譲渡性預金	184,516
買入金銭債権	41,533	コールマネー及び売渡手形	61,417
特定取引資産	30,814	売現先勘定	138,883
金銭の信託	5,081	債券貸借取引受入担保金	61,594
有価証券	1,566,947	特定取引負債	18,874
貸出金	8,119,681	借入金	301,385
外国為替	7,644	外国為替	247
リース債権及びリース投資資産	62,683	新株予約権付社債	56,370
その他資産	120,214	信託勘定借	238
有形固定資産	73,118	その他負債	170,318
無形固定資産	33,769	退職給付に係る負債	20,629
退職給付に係る資産	14,613	役員退職慰労引当金	264
繰延税金資産	2,150	睡眠預金払戻損失引当金	237
支払承諾見返	67,977	偶発損失引当金	1,508
貸倒引当金	△38,824	ポイント引当金	447
投資損失引当金	△53	特別法上の引当金	11
		繰延税金負債	63,108
		支払承諾	67,977
		負債の部合計	10,500,971
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		利益剰余金	683,326
		自己株式	△50,631
		株主資本合計	778,424
		その他有価証券評価差額金	195,379
		繰延ヘッジ損益	677
		為替換算調整勘定	989
		退職給付に係る調整累計額	△172
		その他の包括利益累計額合計	196,874
		新株予約権	327
		非支配株主持分	1,266
		純資産の部合計	976,893
資産の部合計	11,477,865	負債及び純資産の部合計	11,477,865

中間損益計算書(連結)

科目	2017年度中間期末
経常収益	110,688
資金運用収益	60,294
(うち貸出金利息)	49,379
(うち有価証券利息配当金)	8,692
信託報酬	0
役務取引等収益	31,322
特定取引収益	1,926
その他業務収益	1,007
その他経常収益	16,136
経常費用	75,317
資金調達費用	7,378
(うち預金利息)	3,726
役務取引等費用	16,545
その他業務費用	437
営業経費	47,051
その他経常費用	3,904
経常利益	35,370
特別利益	253
特別損失	256
税金等調整前中間純利益	35,368
法人税、住民税及び事業税	8,331
法人税等調整額	2,115
法人税等合計	10,446
中間純利益	24,921
非支配株主に帰属する中間純利益	8
親会社株主に帰属する中間純利益	24,912

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間貸借対照表(単体)

科目	2017年度中間期末	科目	2017年度中間期末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	1,074,546	預金	9,404,965
コールローン	284,842	譲渡性預金	190,416
買入金銭債権	41,533	コールマネー	61,417
特定取引資産	30,629	売現先勘定	116,878
金銭の信託	5,081	債券貸借取引受入担保金	61,594
有価証券	1,575,882	特定取引負債	18,877
貸出金	8,138,991	借入金	276,340
外国為替	7,604	外国為替	249
その他資産	95,974	新株予約権付社債	56,370
有形固定資産	68,982	信託勘定借	238
無形固定資産	33,906	その他負債	140,540
前払年金費用	14,079	退職給付引当金	18,435
支払承諾見返	112,025	役員退職慰労引当金	77
貸倒引当金	△35,371	睡眠預金払戻損失引当金	237
投資損失引当金	△53	偶発損失引当金	1,508
		ポイント引当金	390
		繰延税金負債	62,622
		支払承諾	112,025
		負債の部合計	10,523,187
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		資本準備金	54,884
		利益剰余金	635,195
		利益準備金	90,845
		その他利益剰余金	544,349
		自己株式	△50,631
		株主資本合計	730,293
		その他有価証券評価差額金	194,110
		繰延ヘッジ損益	735
		評価・換算差額等合計	194,846
		新株予約権	327
		純資産の部合計	925,468
資産の部合計	11,448,655	負債及び純資産の部合計	11,448,655

中間損益計算書(単体)

科目	2017年度中間期末
経常収益	90,496
資金運用収益	61,376
(うち貸出金利息)	49,373
(うち有価証券利息配当金)	9,780
信託報酬	0
役務取引等収益	14,346
特定取引収益	402
その他業務収益	1,011
その他経常収益	13,359
経常費用	59,184
資金調達費用	7,513
(うち預金利息)	3,806
役務取引等費用	6,653
その他業務費用	437
営業経費	43,133
その他経常費用	1,446
経常利益	31,312
特別利益	253
特別損失	255
税引前中間純利益	31,309
法人税、住民税及び事業税	6,740
法人税等調整額	2,207
法人税等合計	8,947
中間純利益	22,362

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

決算情報の開示について

静岡銀行では、経営内容や業績などをお知らせするため、決算情報をホームページに掲載しています。

<http://www.shizuokabank.co.jp/ir/financial/index.html>

連結子会社(12社)

- 静岡経営コンサルティング(株)
経営コンサルティング業務/代金回収業務
- 静岡リース(株)
リース業務
- 静岡コンピューターサービス(株)
コンピューター関連業務/計算受託業務

- 静岡信用保証(株)
信用保証業務
- 静岡ディーシーカード(株)
クレジットカード業務/信用保証業務
- 静岡キャピタル(株)
株式公開支援業務/中小企業再生支援業務

- 静岡ディーエム証券(株)
金融商品取引業務
- 静岡総合サービス(株)
人事・総務・財務関連業務
有料職業紹介業務
- 静岡モーゲージサービス(株)
銀行担保不動産の評価・調査業務
貸出に関する集中事務業務
- 静岡ビジネスクリエイト(株)
為替送付・代金取立等の集中処理業務
労働者派遣業務

- 欧州静岡銀行
銀行業務/金融商品取引業務
- Shizuoka Liquidity Reserve Limited
金銭債権の取得

持分法適用関連会社(3社)

- 静岡セゾンカード(株)
クレジットカード・プリペイドカード業務/信用保証業務
- マネックスグループ(株)
金融商品取引業務等を営む会社の株式の保有
- コモンス投信(株)
投資運用業務、投資信託販売業務

2017年9月30日現在



SHIZUOKA BANK

静岡銀行

<http://www.shizuokabank.co.jp/>



この印刷物には、環境に配慮した
植物油インクを使用しています。

本誌は、静岡県が制定した「カラーユニバーサルデザインのための指針」を参考に編集しています。